

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱電機株式会社鎌倉製作所19工場	階数	地上5F
建設地	鎌倉市上町屋字池ノ下3番2外24筆／ 鎌倉市上町屋字吉目129番1外6筆各一部	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,850時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年6月30日
敷地面積	905㎡	作成者	(株)三菱地所設計一級建築士事務所
建築面積	599㎡	確認日	2025年6月30日
延床面積	2,989㎡	確認者	(株)三菱地所設計一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.3 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。	 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境

3.6

温熱環境

3.0

光・視環境

2.4

空気質環境

3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

機能性

3.7

耐用性

3.2

対応性

3.8

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 3.3

生物環境

4.0

まちなみ

3.0

地域性・

3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

建物外皮の

5.0

自然エネ

3.0

設備システ

2.3

効率性

3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

水資源

3.4

非再生材料の

3.4

汚染物質

3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化

3.7

地域環境

3.5

周辺環境

3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 最先端の機器を製作する工場施設に隣接する事務所として、生産性の効率化だけでなく、従業員の働く環境、周辺環境へも配慮した計画としています。		
Q1 室内環境 開口部遮音性能はT-2の性能を確保しています。	Q2 サービス性能 用途変更や設備シフトの変化等に支障なく快適さが得られるように、階高や天井高さ及び積載荷重等に余裕を持たせた設計としています。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の条件に適切な応じた適切な緑地づくりを行っています。外構緑化指数は、75.89%としています。
LR1 エネルギー BPI _m =0.79	LR2 資源・マテリアル 自動水栓に加えて、節水型便器を採用しています。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を使用しておらず、大気汚染物質を全く発生しません。行政指導はありませんが、任意に雨水流出抑制対策を実施しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される